

排泄物、きちんと処理して有効活用！

気温や湿度が高くなるこの時期は、糞尿から悪臭が発生しやすく、ハエの発生も多くみられます。そのままだと「厄介者」、きちんと処理すれば「資源」。環境月間を機に堆肥の有効活用に努めましょう。

①臭うのはなぜ？

- ◆家畜から排せつされた糞尿は、嫌気的条件（空気にさらされていない状態）で嫌気性微生物に分解されると悪臭が発生します。
時間が経つほど、悪臭物質は増加しますので、糞尿は速やかに処理しましょう。
- ◆過去には堆肥の切り返し時や散布時に悪臭の苦情がありました。
糞尿、堆肥の処理は、天候や風向きなどを考慮して行いましょう。
- ◆除糞や畜舎及び畜舎周辺の清掃を励行し、臭気発生物の削減に努めましょう。



②ハエがわくのはなぜ？

- ◆食べこぼしやこぼれた糞などはハエ（ウジ）の発生源となります。
特に清掃しにくい畜舎の隅、飼槽、給水器の下等、また、除糞しにくい床の隅などは念入りに行いましょう。
- ◆殺虫剤を用いる場合は、適切な用法・用量で散布し、使用記録を付けましょう。



③運搬時の注意点は？

- ◆未処理の排せつ物を持ち出す場合には、持ち出す前後に運搬車両を消毒しましょう。
- ◆運搬車両には糞尿がこぼれないように、シート等をかぶせましょう。



- ◆家畜排せつ物処理法により、牛・馬10頭以上、豚100頭以上、鶏2000羽以上の飼養者は家畜排せつ物を適正に管理することが義務付けられています。
- ◆家畜排せつ物の年間の発生量、処理方法・数量を記録しましょう。